

利便増進実施計画の改定について




★利便増進実施計画とは

公共交通施策のマスタープランである「地域公共交通計画」に基づき、**地域住民の移動の利便性を高めるための具体的な取組を位置付け、実施する計画**

「日立市地域公共交通利便増進実施計画」(R6～R10)

- 地域間移動の利便性向上のため、**常陸太田市～日立市、日立駅～十王駅**を結ぶ路線の維持確保の取組を位置付け
- 計画に位置付けることで、国補助事業の特例措置を受ける**

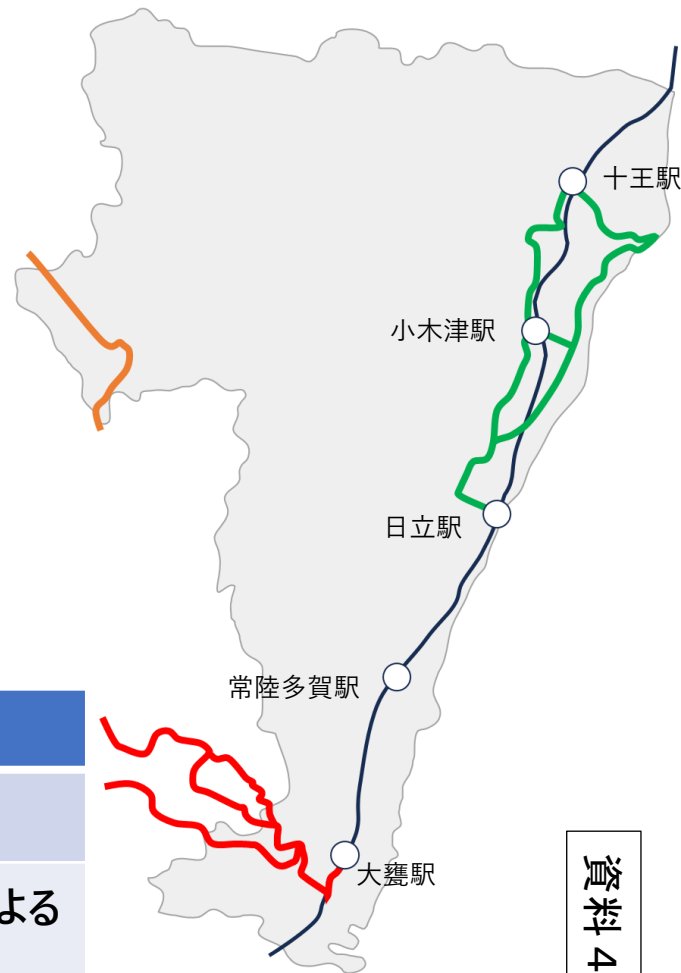
(対象路線) ※地域間幹線系統

-  常陸太田駅～下深荻～里川入口線
-  大甕駅西口～常陸太田駅～馬場八幡前線
-  日立駅～小木津駅～十王駅線

(特例措置の内容)

項目	基準	特例措置
1日当たりの輸送量	15人～150人	3人～150人
平均乗車密度による補助減	平均乗車密度5人未満で補助減	平均乗車密度による補助減なし

※地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱 別表1～4 (第6条関連)



地域間幹線系統路線図

利便増進実施計画の改定について

1 利便増進実施計画への位置づけによる国補助の特例措置について

(日立市と常陸太田市を跨ぐ路線)

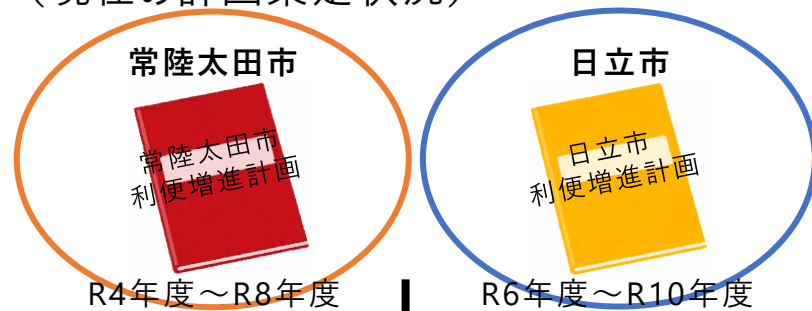
従前 両市が、それぞれ個別の利便増進実施計画に対象路線を位置付ければ、特例措置可

今後 両市が共同で利便増進実施計画を策定しなければ、**特例措置が受けられない**

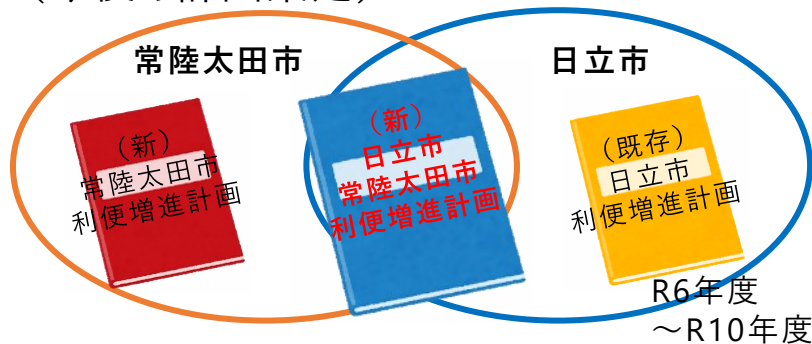
令和8年度末で計画満了となる常陸太田市の計画と合わせて、両市共同での計画策定が必要

2 策定の方向性

(現在の計画策定状況)



(今後の計画策定)



R8年度中に策定 → R9年度から運用開始

3 策定により受けられる特例措置

対象路線	特例措置なし	特例措置あり
常陸太田市～中里地区	補助対象外 (輸送量15人未満)	補助対象 満額補助 (補助率1/2)
常陸太田市～大甕駅	補助対象だが、 補助減 (平均乗車密度5人未満)	満額補助 (補助率1/2)

→特例措置を受けない場合、**年間800万円程度補助減**

4 策定に係る費用負担の考え方 (今後検討)

(負担割合の案) 該当路線の運行距離按分

策定費用	常陸太田市	日立市
6,600千円	4,620千円 (7割)	1,980千円 (3割)

※常陸太田市にて国補助活用 (補助額:1,980千円)

国補助活用により、日立市は実質1,400千円程度の負担となる